

2022JR総連春闘 加盟8単組妥結



2022JR総連春闘勝利!! 総決起集会 山口委員長の団結ガンバロー!

2022JR総連春闘は、長引くコロナ禍の影響を受け、交通・運輸産業や観光・サービス産業が、依然として厳しい経営状況に置かれる中でのたたかいたりとなりました。JR北海道労組は21年ぶりにベア一律500円を獲得し、JR貨物労組も率回答となったものの、新しい人事賃金制度においてはじめてベア0.1%を獲得しました。また、聚楽労組は1,500円の賃金改善を獲得し、これらの成果は各単組の交渉をはじめ、労連やグループ会社の仲間の交渉にも相乗効果・波及効果をもたらしています。

22春闘は、昨年の21春闘敗北の根柢を掘り下げ、「統一闘争」をいかにつくり出すのかという課題を一致させてたたかってきました。

JR総連は、機関会議での方針の練り合わせ、戦術の意思統一の場づくり、総決起集会の開催、職場環境改善のたたかい、横のつながりを強化するWEB会議の開催など、これまでの「JR総連春闘」のたたかいを再構築して、一糸乱れぬたたかいを実現することで厳しい情勢に立ち向かってきました。その結果、すべての単組の団結強化につながっていることは言うまでもありません。

その成果は、厳しい情勢でのベア確保、定期昇給の確保、労働条件の改善、労連への波及効果にとどまらず、「組織強化」という労働組合の根幹にかかわる大きな目的を実現することができたたかいたとして教訓化し、組織拡大につなげていかなければなりません。

労連の仲間やグループ会社の仲間の春闘はこれからも続きます。引き続き、仲間の交渉を見守るとともに、連帯・共闘の精神で最後までたたかい抜こうではありませんか。

| 単組 | 賃金改善 | 妥結日 | 単組 | 賃金改善 | 妥結日 |
|---------|--------------------|-------|--------|------------------------|-------|
| JR北海道労組 | 定期昇給実施 ベア一律500円 | 3月17日 | JR貨物労組 | 定期昇給実施 ベア(基本給×0.1%) | 3月17日 |
| JR東労組 | 定期昇給実施 | 3月31日 | 鉄研労 | 定期昇給実施 | 3月25日 |
| JR東海労 | 定期昇給実施 | 4月1日 | システム労 | 定期昇給実施 | 4月15日 |
| JR西労 | 定期昇給実施 | 4月5日 | 聚楽労組 | ベア一律1,500円 | 3月30日 |

JR総連各地協春闘の取り組み紹介

北海道地協

2月26日、札幌市・ニューオータニイン札幌において、JR総連北海道地協・JR北海道労連・JR貨物労連北海道地協「合同春季セミナー」を開催し、70名の仲間が参加しました。主催者を代表し中川議長が挨拶をおこない、ご来賓のJR総連山口執行委員長より講演を受け、2022JR総連春闘勝利にむけて、団結をうち固めることを確認しました。



挨拶に立つ中川議長

各単組の代表から、2022春闘における組織課題と決意が明らかにされ、集会アピールを全体で確認し、2021JR総連春闘の敗北を教訓に、2022JR総連春闘を「ベア実現・定昇確保」「統一要求・統一闘争」「連帯・共闘」を職場からの運動の強化でたたき抜くことを確認しました。

東北地協

JR総連東北地協は、3月2日JR東労組盛岡地本会議室において「2022春闘学習会」を開催しました。

皆本議長は挨拶で、「ロシア軍がウクライナに侵攻し多くの犠牲者を生みだしている。戦争で犠牲になるのは労働者である。JR総連は『テロにも戦争にも反対』の姿勢を貫いてきた。日本でも軍事拡大の議論が展開されてきている。憲法9条を守り平和な世の中をつくり出していかなくてはならない」との決意が述べられ、その後、JR総連八幡書記長から22春闘の基調報告を受け、全体で「イノベーションがもたらす現実」について学習をしました。

これからもJR総連東北地協は、平和・人権・民主主義を守り、労働者の為の運動をつくり出していくことを全体で確認しました。



皆本議長の団結ガンバロー

東海地協

JR総連東海地協は3月2日、名古屋市内において「2022春闘討論集会」を開催し30名が参加しました。今春闘では経団連が「ジョブ型雇用」導入を明確に掲げていることや、JR総連各単組間の連携が従来以上に求められていること、またロシアによるウクライナ侵攻を糾弾し戦争反対の声を上げることなどを意思統一してきました。



挨拶に立つ細川議長

また、JR東海労・淵上特別執行委員より「54歳原則出向解除の闘い」について、約1時間にわたって報告を受けました。全体討論では淵上さんの教訓的な闘いについての感想や各単組が直面する課題、2022春闘への決意などが発言されました。最後に集会アピールを採択し、細川議長の団結ガンバローで閉会しました。

近畿地協

JR総連近畿地協は3月4日、JR総連山口委員長を来賓に迎え「2022JR総連春闘勝利!!総決起集会」を吹田サンクスにおいて開催しました。

加盟3単組の仲間から、2022春闘勝利にむけた力強い決意表明を受け、JR総連春闘方針の下、各単組とも「ベア6000円・定期昇給完全実施・総合労働条件の改善」を掲げ、団結と連帯をさらに強化し、春闘勝利にむけて闘い抜く決意を、参加者とともに確認しました。

また、ロシアのウクライナ軍事侵攻に對して、あらためてテロにも戦争にも断固として反対することを明らかにし、夏の参議院選挙では平和を守る候補者を推薦し当選にむけ取り組み、比例選挙は自治労出身の「鬼木まこと」氏を応援することを確認し、最後に津崎議長の団結ガンバローで「2022JR総連春闘勝利!・平和・人権・民主主義を守る闘いの勝利!」にむけて突き進むことを意思統一しました。



津崎議長の団結ガンバロー

「たすけあいの輪をむすぶ」
 こくみん共済 coop は、次のステージへ

こくみん共済 (全労済)

「こくみん共済 coop」は望みを目的としない保障の生協として共済事業を営み、相互扶助の精神にもとづき、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしに貢献することを目的としています。この趣旨に賛同いただき、出資金を払い込んで居住地または勤務地の共済生協の組合員とすることで各種共済制度をご利用いただけます。

あなたと家族に安心届けます。保険はおまかせください。

各種のお問い合わせは、パソコン・スマホ、から可能ですので、ご利用をお待ちしております。

《取扱商品》
 ▲ 自動車保険・火災保険
 ▲ サークル保険
 ▲ がん保険・医療保険・介護保険
 ▲ 給付サポート保険
 ▲ JR積立年金
 ▲ すみっこ商店・伊東たつき会館

〒141-0031
 東京都品川区西五反田3-2-13 目黒さつきビル
 TEL 03-3490-3862 FAX 03-3491-7198

JR総連・各単組賛助団体
 (株)鉄道ファミリー 検索

『19日行動』 3.19国会議員会館前行動



3月19日、戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会／安倍9条改憲NO！全国市民アクション共催の、「ロシアのウクライナ侵略反対！即時撤退！改憲発議反対！辺野古新基地建設中止！『核共有』反対！いのちと暮らしと営業を守れ！3・19国会議員会館前行動」が開催され、JR総連（JR総連・JR東労組・JR東海労・JR貨物労組）から約70名、全体で1,000名が国会前に結集し、ロシアのウクライナ即時撤退と改憲反対の声をあげてきました。

主催者から「ウクライナへの侵略、攻撃から24日、市民、老人、子どもたちなど無抵抗な人たちがロシアの攻撃で犠牲になっている。ロシアは無差別攻撃を即時、止めるべきだ。1931年、15年戦争が始まった。満州事変からその後、日本は殺戮を繰り返した。その歴史を思いださなければならぬ。日本は満州に傀儡政権を作った。ロシアはウクライナに傀儡政権を作ろうとしている。決して許してはならない。

アメリカはアジア太平洋末期にどうしたら大量に殺戮できるか考え、東京大空襲を行い、その後、広島、長島に原爆を投下した。武力で平和は築けないことを大きな声でさげばなければならない。

安倍元首相は核保有を叫んでいる。核で平和は築けない。私たちは心の底から戦争反対の声叫んでいこう」と訴えました。

その後、各政党、団体などからロシアのウクライナ侵略、無差別攻撃に抗議と即時撤退の意志、そして政権交代を成し遂げていく決意が示されました。

ロシアがウクライナに侵略から約1ヶ月が経とうとしています。連日、ウクライナでの悲惨な状況がマスコミで報道されています。いつも戦争で犠牲になるのは子どもたちです。私たちは職場と地域から戦争反対の声をあげ、大きなうねりをつくりだしていきましょう！

3.21さようなら原発集会



3月21日、代々木公園において、「さようなら原発」一千万署名・戦争させない1,000人委員会が呼びかけの「ウクライナに平和を！原発に手をだすな！市民アクション」が開催され、全体で2,500名が結集し、JR総連（JR東労組・JR東海労・JR貨物労組）は9条連の仲間と共に、85名で参加しました。

呼びかけ人の鎌田慧氏は「安倍元首相はアメリカの核を共有しようとしている。また敵基地攻撃能力の保有も進め、更に核を拡大しようとしている。ウクライナに思い馳せ、戦争反対、核反対の闘いをしよう」と訴えました。また、作家の落合恵子氏は「私たちは報道の中からしか見ることができない。本当の真実はどうなっているか分からない。だから戦争をやめろと言いたい。本当の真実をいざれこの国もどうなるか分からない。戦争が起きないと誰が言えるのだろうか。選挙も今のままでは大敗北だ。本当に大敗北でいいのか。反対する人はより少なくなるが、世の中を変えるのは少数派だと心に決めて反対していこうではないか」と決意が述べられました。

また、90歳を超える作家の澤地久恵氏からは、ウクライナに思いを馳せ「こういう日が来るとは思わなかった。子どもたちは目に涙をためている。住んだ家が壊され、避難生活を送っている。子どもたちは何が起きているか分かっているはずだ。これは私を含めて大人の責任だ。みんな一人ひとりが何をやるのか。小さな一歩でもいいから進めていこう」と呼びかけました。

さらに、ウクライナ出身の歌手ナターシャ・グジーさんは、戦場と化しているウクライナに対する思いを、童謡の「ふるさと」にのせ、日本語とウクライナ語で歌い、参加者は感動と共に戦争をやめさせるためにたたかい抜く決意をさらにうち固めました。

その後、参加者とともに渋谷や原宿などをデモ行進し、街行く人に「戦争反対！原発反対！ウクライナに平和を！」と訴えてきました。



如何なる理由があろうとも、人々を虐殺し、また武力によって窮地に追い込むことなどあってはなりません。JR総連はこれからもテロにも戦争にも反対し、平和な社会を築き上げていきます。

2022沖縄平和研修

JR総連は、4月9日～11日の日程で沖縄平和研修を開催しました。今回の研修は、鉄道5単組を対象に取り組み19名の仲間が参加しました。また、美世志会の梁次邦夫さんにも二日間にわたりガイドのお手伝いをいただきました。

研修1日目は、辺野古のテント村を訪問しました。テント村を運営するへり基地反対協の浦島悦子事務局次長より、辺野古新基地建設に至る経緯と現在の状況の説明を受け、「基地反対の投票は71%だったにも関わらず政府は基地建設を続行する。何のための投票だったのか、また海底は軟弱地盤であり地盤沈下しかねない。それにも関わらず建設を止めないのは利権でしかない」など当時の安倍政権の問題や民意を無視する政治の問題を間近に実感することができました。その後、宜野湾市嘉数高台から「世界一危険な基地」と言われている普天間基地を視察し、沖縄戦の最中に地元住民が避難、また収容所に収容されていた間に普天間基地建設がされ、終戦を迎えても家に帰ることができず、基地の周りに住み始めた歴史的な経緯、2004年の沖縄国際大学へのへり墜落事故とその後の処理をめぐる日米地位協定の問題を学びました。

2日目は、ひめゆり祈念館、魂魄の塔、平和の礎と平和記念資料館を訪問したあと、糸数アブチラガマに入塚し、このガマのなかで多くの方々が命を落とした事実をガイドの方から説明を聞ききました。沖縄戦を追体験する中で、同じ惨劇がロシアとウクライナでは起きています。沖縄の地にたち、いかに戦争が残忍なもので、誰が何のために戦争を起こすのか、ロシアとウクライナによる戦争の問題についても、より深く考えさせられました。過去、第二次世界大戦では、労働組合は戦争に反対することなく戦争を支持した歴史があります。その意味では、今回の研修を通じて、労働組合が平和運動を取り組み、平和を希求する意義について、参加者一同で確認することもできました。来月には5連協の仲間による沖縄平和研修も実施します。JR総連は、これからも9条連の仲間をはじめ戦争に反対するすべての仲間と連帯し、反対の声をあげていきます。



ひめゆりの塔



辺野古テント村

国際部からのお知らせ

国際運輸労連（ITF）国際鉄道行動週間
ITFは3月27日～4月3日を国際鉄道行動週間に設定しました。

JR総連は鉄道の安全を守る取り組みの必要性や環境にやさしい鉄道のメリットを訴え、世界の労働者と鉄道の発展を実現するために、国際鉄道行動週間の取り組みに参加してきました。



国際労働者交流センター（ICLS）がロシアのウクライナ侵略に抗議する声明を发出

ICLS国際運営委員会は2022年3月、ロシアによるウクライナ侵略に抗議する声明を发出しました。声明はエドガー・ピラヨンICLS議長（フィリピン国鉄労組）の呼びかけにより、ICLS国際運営委員会の賛同を得て发出されました。声明では「民主的な独立国家であるウクライナへのロシアの不当な行動は容認できない」として「ロシア軍の撤退と停戦」を呼びかけています。

ICLSは今後も、ウェブを活用した会議の開催を予定しています。JR総連は、いかなる戦争にもテロにも反対し、ICLSでも積極的に発信しながら、国際連帯を強化していきます。

International Center for Labor Solidarity (ICLS)
1417 Shougang Yuen Family Bldg, 22/F, Yungkuo Street, Tsingtau, China, DONGTAI
By Order: 003 525 0000, Tel: +852 2 406 4000 Fax: +852 2 405 1234 Email: icls@icls.org.hk

Manila office: 2024 EDSA, 2/F, 2024 Compostel, Taguig City, Metro Manila, Philippines
Tel: +63 2 8190181

Tokyo office: 5-2-13 Nishi-cho, Shinjuku-ku, Tokyo, Japan 161-0031
Tel: +81 3 6461 7201 Fax: +81 3 6461 7202

Dear Mr. Vladimir Vladimirovich Putin
President of Russian Federation

ICLS PROTEST INVASION OF UKRAINE BY RUSSIA

The International Center for Labor Solidarity (ICLS), an organization of Trade Unions based in the Asia/Pacific Region, joins the whole world in condemning the invasion of Ukraine by Russia. Ukraine is a sovereign and democratic nation and that Russia's act is unjustified and unacceptable. We have seen on Television and Social Media the harsh situation of the citizens of Ukraine as a result of this invasion.

We at the ICLS calls on Russia to withdraw its troops in Ukraine and stop this war.

STOP THIS WAR, RUSSIA LEAVE UKRAINE NOW!

The ICLS STEERING COMMITTEE

5連協「春の運動会」in昭和記念公園
2022年4月23日(土) 立川市・昭和記念公園
運動会：10:30～12:30 交流会：13:30～15:30
5連協の組合員・ご家族みなさまの参加をお待ちしています!!